

2026年5月25日

各位

会社名 株式会社カナミックネットワーク
代表者名 代表取締役社長 山本 拓真
(コード番号：3939 東証プライム市場)

カナミックネットワーク、シンガポールの高齢者ケア事業者との MOU 締結を発表
AI を活用したケアソリューションを共同開発



(写真左より) Kwong Wai Shiu Hospital CEO Dr. Mok 氏、カナミックネットワーク 山本拓真社長、駐シンガポール日本国大使の石川浩氏、シンガポール デジタル開発・情報・保健担当上級国務大臣 Tan Kiat How 氏、シンガポール社会科学大学 (SUSS) の Kelvin Tan Cheng Kian 准教授、Lions Befrienders Executive Director Ms. Karen 氏。

株式会社カナミックネットワーク(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山本拓真、以下「当社」)は、シンガポールの現地高齢者ケア事業者と提携し、AI を活用したケアソリューションの共同開発に向けたパイロット事業を開始する MOU を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本事業は、日星両首相によって共同声明された「日本・シンガポール戦略的パートナーシップ」に基づく取り組みです。日本国内で高齢者ケアのデジタルトランスフォーメーション (DX/AI) を推進する当社が、シンガポールの主要な介護事業者である Kwong Wai Shiu Hospital (以下「KWSSH 社」) および Lions Befrienders (以下「LB 社」) と連携し、専門的な業務ソフトウェアソリューションの共同開発に着手します。この国境を越えたパートナーシップにより、当社が日本で培った AI を活用

した介護業務ソリューションをシンガポールの介護現場に導入し、現場スタッフが患者ケアにより注力できる環境の構築を目指します。



SINGAPORE - JAPAN
DIPLOMATIC RELATIONS
1966 - 2026



KWONG WAI SHIU HOSPITAL

廣 惠 肇 留 醫 院

Since 1910



Connecting Seniors,
Enriching Lives®

■ 記者発表会の実施と背景

マリーナベイ・サンズの一角にあるサンズ・エキスポ&コンベンション・センターで開催された記者発表会には、主賓としてシンガポールデジタル開発・情報省および保健省の Tan Kiat How 上級国務大臣が、特別来賓として石川浩駐シンガポール日本国大使が出席されました。両氏の出席は、高齢者ケアにおける実践的なイノベーション推進に対する両国の強い決意を示すものです。

シンガポールが今年「超高齢社会」に突入する中、質の高いケアを維持するためには、現場の医療・介護従事者の配置最適化が極めて重要な課題となっています。本パイロット事業では、日本の介護 AI ソリューションにおける当社の専門知識と実績に、KWSH 社（介護施設・デイケア運営）および LB 社（アクティブ・エイジング・センター・在宅ケア運営）の豊富な運営ノウハウを融合。日々のケア現場に根差した「スマートワークフロー」の革新を共同開発し、試験的な導入を推進してまいります。

なお、本イニシアチブのコンサルタントには、シンガポール社会科学大学（SUSS）の Kelvin Tan Cheng Kian 准教授が就任し、現地の学術・実務的要件に基づいた支援を行います。

■ パイロット事業の概要：介護業務における AI 活用の評価

今後1年間にわたる共同開発パイロット事業では、現地のニーズに即した『イノベーション・ショーケース』の構築を目的とし、現地に最適化された業務用 AI 機能の検証に重点を置きます。具体的には、スマート音声によるケア記録の文字変換、予測に基づく日次スケジュール管理、多職種間の自動タスク引継ぎなどを検証項目としています。本事業を通じて、AI ワークフローが現場スタッフの事務負担を軽減し、シンガポールの既存医療 IT インフラをいかに補完・強化し得るかを実証してまいります。

■ パイロット事業における3つの重点領域

本パイロット期間中は、以下の3つの分野に重点を置いて取り組みます。

- ・ **事務負担の軽減**：日常的な文書作成や内部プロセスの自動化を推進し、現場スタッフの業務負担を大幅に軽減します。
- ・ **ケアチームの連携評価**：スマートワークフローAI の活用によりケアチームを支援し、正確かつ包括的なケアを提供できる体制を構築します。
- ・ **人員効率の最適化**：日々の業務フローを合理化することで、より安全で効果的なケアの提供を支えるとともに、スタッフと患者（利用者）の配置比率を最適化します。



■ 株式会社カナミックネットワーク 代表取締役社長 山本拓真

「私たちの使命は、知見の共有と共創を通じて、シンガポールのヘルスケア・エコシステムに貢献することです。KWSH 社や LB 社といった現地の大手名門機関が持つ優れた運営手法から学べる機会をいただき、大変光栄に存じます。サンドボックス（実証環境）での取り組みを通じて AI 活用の可能性を共に探求することで、現場のスタッフが『直接的なケアに充てる時間』を増やし、最も重要な『高齢者の方々への寄り添い』に専念できる環境づくりを目指してまいります。」

■ Kwong Wai Shiu Hospital 最高経営責任者 (CEO) Mok Ying Jang 博士

「カナミックネットワークならびに地域ケアパートナーの皆様との、戦略的な国境を越えた連携に参画できることを大変嬉しく思います。シンガポールが超高齢社会へと移行する中、ケアの未来は、人々をより良く支えるためにワークフローをいかに効果的に再設計できるかにかかっています。本パイロット事業は、AI システムが事務負担を軽減し、業務効率をいかに向上させ得るかを検証する貴重な機会です。これにより、私たちのチームが質の高いケアの提供に、より多くの時間を注げるようになることを期待しています。」

■ Lions Befrienders Executive Director Karen Wee 氏

「地域ケアの本質は、人と人との絆にあります。今回のサンドボックス（実証環境）での取り組みを通じて、スマートな業務アシスタントが現場のスタッフにどれほどの時間を還元できるかを検証できることは、非常に意義深いと感じています。この分野を支援し、高齢者の方々により多くの時間と思いやりの心を注げるようになるための挑戦に貢献できることを、心より嬉しく存じます。」

■株式会社カナミックネットワークについて

2000 年設立、東京に本社を置く東証プライム市場上場企業。高齢者介護分野における医療・介護事業管理ソフトウェアを提供する、日本を代表するヘルスケア DX プロバイダーです。地方自治体、医師、看護師、ケアマネージャー、介護事業者をつなぐクラウドベースの情報共有プラットフォームを専門としています。主力の「カナミッククラウドサービス」は、国内最多の在宅介護を運営するニチイホールディングスをはじめ、日本全国 57,000 カ所の医療・介護施設で導入されています。

公式サイト：<https://www.kanamic.net/>

■Kwong Wai Shiu Hospital (KWSH) について

1910 年設立。シンガポールの地域ケアをリードする機関であり、高齢化する国民に対し、利用しやすく効果的なケアを提供しています。2 つの介護施設、6 つのアクティブ・エイジング・ケアセンター、2 つの漢方センター、および在宅ケアからなる統合的なネットワークを運営しています。患者の多くは低所得者層であり、病院による多額の助成を受けています。シンガポール最大級の施設運営機関として、2029 年までに収容人数を 2,000 床以上に拡大する計画です。また「KWSH アカデミー」を通じて、地域ケア全体の研修・研究・イノベーションも推進しています。

公式サイト：<https://www.kwsh.org.sg/>

■Lions Befrienders Service Association (LBSA) について

1995 年設立。高齢者が地域社会で健やかに老後を過ごせるよう、包括的な支援を行う社会福祉団体です。約 1,000 名の常勤ボランティアの協力により、13,000 人近い高齢者の社会的・精神的・身体的なニーズに応える統合サービスを提供しています。現在は 10 カ所のアクティブ・エイジング・センターのほか、コミュニティ・ケース・マネジメント、強化型在宅介護 (HPC+) [Queenstown, Clementi & Tampines]、社会的に孤立した高齢者を支援する「フレンドリー・サービス」などを運営しています。

公式サイト：<https://www.lionsbefrienders.org.sg/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社カナミック・ネットワーク 管理部

住所 〒150-6031 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイス タワー31F

TEL: 03-5798-3955

FAX: 03-5798-3951

Email: global-pr@kanamic.net